

学校目標 「やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい 蒔田っ子」

横浜市立蒔田小学校だより

平成28年度

# まいた

11月号

平成28年10月31日

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/maita/>

## 体験学習から学ぶこと

副校長 芦垣 康志

蒔田小の池の上には石榴の木がたわな実をつけ、金木犀の甘い香りがただよふ秋の恵みを感じる季節となってきました。前期が終わり、子どもたちはまた新たな目標を立てて、元気に後期のスタートを切っています。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋等、何をするにも良い季節となりました。

蒔田小の秋は、「体験の秋」です。9月の終わりから11月にかけて体験学習を多く計画しています。1年生は野毛山動物園の遠足、幼稚園との秋祭り交流、2年生はマリノスサッカーキャラバン、3年生は学区探検、南区音楽会参加、4年生は上郷宿泊体験学習、5年生は心のふれあいコンサート、自動車工場見学、6年生は児童体育大会、芸術文化プラットフォーム、個別級は野島宿泊体験学習、小中交流会、子どものアトリエ教室、そして全校で行うわくわくMFが予定されています。どの取組も普通の学習ではなかなかできないことを体験し、感動したり、考えたりすることができます。友達とのかかわりの中で認め合い、励まし合い、相手を思いやりといった基本的な社会生活のルールを学びます。また、いろいろな人の考えに触れ、これからの自分の生き方、考え方の参考にすることができます等、体験学習を通して得る力はとても大きいと感じます。

9月の終わりに全校ハイキングを行いました。学級を離れ、一日他学年の友達と自分たちで計画した遊びやポイントラリー等で遊びながら交流を図りました。この活動は異学年で行うことに目的を置いています。異学年の子と関わることで「こういう時はこうすればいいんだ」とか「こんなふうに考えればいいんだ」等、見本となる行動に多くふれることができます。公園の行き帰りに1年生の手を引いて「あぶないよ」「もうすこし、がんばって」と声をかける6年生の様子を目にして、下級生の子たちはきっと大きくなったらあんなやさしい6年生になりたいなと思ったことでしょう。来年最高学年になる5年生は6年生をしっかりとフォローしていました。また、他の学年の子たちも計画がうまく進むように自分の役割をきちんと果たして行動していました。活動を終え学校に到着した子どもたちはどの子どもも大変満足した表情をしていました。



シーパラダイスにて アジ釣り

先日行われた4年生の上郷体験学習では、4年生一人ひとりがグループのこと、全体のことを考えて行動する姿に感動しました。いろいろな場面で自立、思いやり、協力等の姿が伺えた2日間でした。

さあ、今年の秋もあらゆる面で実りの多い秋にしてください。